

## 近畿本部 情報工学部会 1 月度例会の案内

◇日時：2018年1月19日(金) 18時～21時

◇場所：大阪市立総合生涯学習センター(大阪市北区梅田1-2-2-500)  
大阪駅前第2ビル5階 第5研修室

[https://www.manabi.city.osaka.lg.jp/yovaku/shisetsuInfoDetailInfoByTSYovakuNo.html?ts\\_vovaku\\_no=04](https://www.manabi.city.osaka.lg.jp/yovaku/shisetsuInfoDetailInfoByTSYovakuNo.html?ts_vovaku_no=04)

◇会費：日本技術士会会員(1000円)、未入会者(2000円)、学生(無料)

### <プログラム>

#### 1. 運営(幹事)会 18:00～18:30

◇本年度幹事(敬称略、順不同)

天野、加賀谷、鍛冶、川本、佐藤(力)、隅田(清)、野原、東山、柏原、北村、本多、榭一、山口

#### 2. 講演 18:40～19:40 宮本 行庸 技術士(情報工学)

『人工知能基礎論—今さら訊けないAIの基礎—』

(概要) 第3次人工知能ブームと言われる昨今、AIの文言をメディアで見ない日はない。一方、その危険性ばかりが強調され、AIの役割や可能性をしっかりと検証せずに報道されている記事が多いのも見過ごせない事実である。現ブームにおけるAIの多くは単なる統計分析器に過ぎず、安価で高速な演算と大容量の記憶を持つハードウェアの上に立脚した技術の出力結果が必要以上に誇張されたものである。本講演では、現代に普及しているコンピュータ上で動作するAIの原理を概説し、AIで「できること」、「できない(かも知れない)」ことについて検証する。

#### 3. 講演 19:40～20:40 小東 茂夫 経営学修士

『大学院実習科目における共創プラットフォームの研究と構想』

(概要) インターネット文化を背景に現在注目を浴びている「共創プラットフォーム」という概念は、実は従来の人々の創造の営みの中にも見出すことができるものだと考えられます。この概念をそのような広い文脈から捉え直し、それを通じて新たな共創プラットフォームを構想する試みを、大学院実習科目において行ないました。重要なエッセンスとして制作物の経済性とプラットフォームの媒体に注目し、web上での論文共創と居酒屋でのメニュー共創という二つのテーマで共創プラットフォームのデザインを試みています。

#### 4. 20:40～ 連絡事項

#### 5. 21:00～ 懇親会



2月例会は2月10日(土) 予定です。